	羅		針	<u>盤</u>]	
評 価 対 象	評 佃	i 項	目	具体的数值項目	1	方 策
I 特色ある学校 づくりに努めて いますか。	1 特色あ っていま	る教育活 すか。	動を行	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が80%以上である。 ②球技大会や地区体育大会などの特色ある学校行事に生徒の80%以上が満足している。 ③総合的な学習の時間(ふれあいの時間)を主体的に取り組んだと自己評価している生徒の割合が80%以上である。		・アンケートによる実態把握・生徒一人ひとりによる対する。 ・生徒一人ひと図る。 ・地区定通制高校との連携強化・生徒会を導とした企画・営のケートによる実態把握・アンケートに時間」における他学年との交流る積しいので流る積りを推進する。・アンケートによる実態把握・アンケートによる実態把握・サンケートによる実態把握・サークを推進する。・アンケートによる実態把握・サークを推進する。・アンケートによる実態把握・サークを推進する。・アンケートによる実態を対する。・アンケートによる実態を対する。
Ⅱ 生徒の意欲的 な学習活動につ いて適切な指導 をしていますか。	2 生徒の 導を行っ	実態に応ています	いた指っか。	④授業に対する生徒の評価を実施して、授業改善を推進する。「授業が分かりやすい」と回答する生徒の割合が80%以上である。 ⑤簿記や情報など資格取得に向けた指導に生徒の80%以上が満足している。		・生徒の実態に応じた協働的な 学習(学び合い学習)を毎時 間実践する。 ・アンケートによる実態把握 ・ 予を工夫がよる。 ・ 実等を工夫する。 ・ 投業改善の推進を生徒の実態 に応じた補講を実施する。 ・ アンケートによる実態把握
	3 生徒は につけて			⑥定期テストや検定試験のために 学習をする生徒の割合が70% 以上である。 ⑦成績不振科目のある生徒の割合 が10%未満である。		・学習の基礎・基本の定着のための授業内を及び指導法の改善を図る。 ・定期試験直前や試験中の家を学習を促す指導を懇待を図る。 ・定期試験直前や試験中の家を学習を促す指導を機続である。 ・単位の履修・振得の重要ない。 ・単位の指導を得の重要ない。 ・認識させ、不振科目をないための指導を各学での場で行う。
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的 を行って			8職員打合せにおいて、生徒に関する情報交換を毎日実施している。 ⑨学校の生活指導(あいさつ、頭髪・服装、遅刻・早退指導等)が適切であると回答する生徒・保護者の割合が80%以上である。 ⑩いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。		・毎日の職員打合せにおいて生徒に関する情報交換と共通理解を行い、情報の共有を図る。 ・充実した学校生活を送るための指導・支援を確立する。 ・アンケートによる実態把握 ・全職員で全生徒を指導する体制を確立させる。 ・アンケートによる実態把握
	5 生徒は しい学校 ますか。	健康で、 生活を送	規則正	①欠席率が10%以下、遅刻率が20%以下である。②交友関係がうまくいっていると感じている生徒の割合が80%以上である。		・遅刻届、早退届を活用し、家庭への迅速な連絡を徹底する。 ・養護教諭、SCを含む教育相談体制を確立させる。 ・アンケートによる実態把握
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	いますか 7 生徒は いて真剣 現に向け	自らの進 に考え、	進路につ その実	13適性や希望などを生かした計画 的な進路指導を行っていると回 答する生徒の割合が70%以上 である。 14進路実現に向けて積極的に取り 組んでいる生徒の割合が70% 以上である。		・LHR等を活用した系統的なキャリア教育を実践験を生かした進路指導を行う。 ・ 進路希望調査の実施と個に応じた指導を実践する。・ 全日制進路指導部やハローワークと連携した。
V 開かれた学校 づくりに努めて いますか。	ますか。 8 家庭、 的に情報 すか。	地域社会 発信をし		⑤保護者面談等に積極的に参加している保護者の割合が70%以上である。⑥Webページを学期に50回以上更新している。		資料等を有効に活用する。 ・PTA総会、保護者面談の案内・返事の確認を徹底する。 ・アンケートによる実態把握・在校生の活動状況や入検情報を随時更新する。

	第1	回 点検・評価	第2回 点検・評価			
自己評価	外部アン ケート等	改善策	自己評価	外部アン ケート等	改善策	
В	В	・生徒の77%、保護者の97%が 楽しい学校生活を送っており、学 校が好きだと回答している。生徒 支援を継続したい。	В	В	生徒の70%、保護者の86%が楽しい学校生活を送っており、学校が好きだと回答している。引き続き生徒を支援したい。	
A	A	・生徒の92%、保護者の88%が 積極的に参加していると回答している。左記大会の意義等を浸透させたい。	A	A	・生徒の75%、保護者の86% が積極的に参加していると回答 している。各大会の趣旨を理解 させた上で取り組ませたい。	
A	A	・生徒の97%が主体的、積極的に 取り組んだと回答している。全職 員で取り組む態勢を継続したい。	A	A	・生徒の92%が主体的、積極的 に取り組んだと回答している。 全職員で取り組む姿勢を継続し たい。	
A	A	・生徒の89%、保護者の91%が 分かりやすい授業が行われている と回答している。言語活動の充実 を踏まえた授業改善を継続した い。	A	A	生徒86%、保護者の86% が分かりやすい授業が行われていると回答している。アクティブラーニングの実践を通した授業改善を継続したい。	
A	A	・生徒の80%が意欲的に取り組んでいると回答している。資格取得のための支援を継続したい。	A	A	・生徒の78%保護者の86%が 意欲的に取り組んでいると回答 している。資格を取得すること の大切さを継続して指導した い。	
A	A	・生徒の71%が学習していると回答している。仕事をもつ生徒にとっても学習しやすい指導方法の改善を継続したい。	А	A	・生徒81%、保護者69%が学習していると回答している。仕事と学習の両立を可能にする指導方法の改善を継続したい。	
В		・1 学期に成績不振科目をもつ生徒 数は4人でその割合は11.1% であった。学習指導を継続したい。	A		・2 学期に成績不振者をもつ生徒 数は1人でその割合は2.8 %であった。学習支援を継続し たい。	
A		・毎回の職員打合せにおいて、生徒 に関する情報交換を欠かさず行っ ている。	A		・毎回の職員打合せにおいて、生 徒に関する情報提供を呼びか け、情報交換を行っている。	
A	А	・生徒の100%、保護者の97% が適切であると回答し、本校の指 導に対して理解を示している。	A	А	・生徒の97%、保護者の94% が適切であると回答している。 登校時指導、下校時指導におい てもあいさつ運動を引き続き行 っていきたい。	
В	В	・生徒の6%がいじめを目撃し、保護者の3%が子どもからいじめの話を聞いている。アンケート調査や個人面談等を通して実態を把握し、解消に努めるとともに、発生防止に全職員の力を結集して臨みたい。	В	В	・生徒の15%がいじめを目撃し、な15者の9%がいじめを目撃し、保護者を聞いているといいの話を関いている及び間に対したの話がいないのでは、大田談・いじめアンケート及び個人面談等を確実に実施しての実態を把握し、解消に発明したるとともに、発生防止に全職員の力を結集したい。	
A		・1 学期の欠席率は4. 1%、遅刻 率は7. 2%であった。学校家庭 間の連携強化を継続したい。	A		・1学期から2学期にかけての欠 席率は6.2%、遅刻率は 8.0%であり、昨年度より大 幅に改善した。学校と家庭との 緊密な関係づくりを継続した	
A	A	・生徒の94%がうまくいっている と回答している。生徒に対するき め細かい指導を継続したい。	A	A	・生徒の83%がうまくいっていると回答している。指導の継続を図りたい。	
A	А	・生徒の89%が計画的な進路指導を行っていると回答している。 指導の継続を図りたい。	A	A	・生徒の89%保護者の86%が 計画的な進路指導を行っている と回答している。教員間の連携 を密にし、年間を通して計画的 組織的な運営に努めたい。	
В	В	・生徒の70%が積極的に取り組んでいると回答している。進路行事の内容の改善に取り組み、生徒の意識を高めるられる指導に努めたい。	В	В	・生徒の67%が積極的に取り組 んでいると回答している。進路 実現に向け、計画の改善や環境 作りに励み、生徒の意識を高め る指導に努めたい。	
A	Α	・保護者の85%が積極的に参加していると回答している。保護者への働きかけを継続したい。	A	Α	・保護者の80%が積極的に参加 していると回答している。引き 続き働きかけたい。	
A		・1学期に70回更新した。引き続き情報発信に努めたい。	A		・2学期に78回以上更新した。 生徒、保護者にとって必要な情 報の発信を継続したい。	